

### いばらき自転車活用推進委員会の議事要旨

- 1 日 時 令和7年3月11日(火) 10:00~12:00
- 2 会 場 茨城県庁12階県民生活環境部会議室
- 3 出席者 別紙名簿のとおり
- 4 結 果

- ・いばらき自転車活用推進計画(第2次)に基づき、今後取り組むべき具体的な施策について議論が交わされ、引き続き、委員の評価、フォローアップ、事業の検証を通じて進めていくことが了解された。
- ・いばらき自転車活用推進計画(第2次)及びいばらき自転車ネットワーク自転車通行環境整備ガイドラインの改定は、事務局と委員長での一任を委員から承諾されたので、今後改定を進めていく。
- ・主な意見等については以下のとおり。

#### ○「いばらき自転車活用推進計画(第2次)」に基づく重点施策の実施状況について

- ・【宮内委員】 各施策の成果がすごく上がっているのので、成果の示し方をもっと具体的にした方が良い。例えば、サイクルバスでは、関東鉄道のTMライナーに輪行袋を無料で積めるなど。輪行袋を積めると利便性が大きく向上するので。
- ・【事務局】 各施策の具体的な成果を県民の皆さまに知っていただけるよう、しっかりとPRさせていただく。
- ・【宮内委員】 大洗・ひたち海浜シーサイドルートについて、日立駅の起点に0kmポストを置くべき。茨城空港の終点ポストも。他のサインより大きくすると撮影スポットになる。また、0kmから最後まで走りきる達成感も得られる。
- ・【事務局】 サイン計画の中で、大きさなど留意しながら行っていきたい。起終点は特に大事なので、他の看板と差をつけるなど対応していきたい。
- ・【宮内委員】 高校生のヘルメット着用率は、愛媛県がいちばん高い。愛媛県ではヘルメット着用の促進に高校生を参画させて成功した。デザインや色を選ばせ、着用促進を自分ごとにした。自分ごとにするとう効果が上がる。
- ・【事務局】 高校生自身がヘルメットを着用したくなるような取り組みは非常に有用。各関係部署で連携し、本県でも取り入れられるか検討したい。
- ・【平田委員】 安全教育について自分ごととして考え、高学年が低学年に伝える仕組みがあると、教える側の労力も減り効果もある。ご検討いただきたい。
- ・【室谷委員】 サイクルサポートステーションは、しまなみ海道の住民参加型のおもてなし空間であるサイクルオアシスが全国に広がったもの。茨城県はサイクルサポートステーションの整備が進んでいるので、参加型で、有機的に声をかけるなど、おもてなしの仕組みを作るとより強固な、住民参加型の

街づくりができるので検討いただきたい。

- ・【事務局】 関係市町村と一緒におもてなしの仕組みを検討させていただく。
- ・【本村委員】 デジタルマーケティングについて、収集から発信、またその結果を収集というサイクルがソフト面の効果評価も有効。  
マーケティングリサーチのあたりで、どのように取り組んでいるか。
- ・【事務局】 ライドプランについて、Web 広告のアンケート機能を活用し、ライトユーザーの方が実際に自分で走りたいと思うプランを収集し、「みんなで作るライドプラン」として形にする取り組みを進めている。
- ・【中島委員】 4年程前に茨城のサイクリング環境認知度調査で細かい階層ごとのマーケティング調査をされていたと思う。数年間の施策を経て、どう変わったのか、何年かおきに調査を行うと、より具体的な施策にも繋げられると思う。
- ・【平田委員】 デジタルが1番進んでいる県ですから、頑張ってください。  
外形的な数字も当然あっていいと思うが、先程のおもてなしの話で、おもてなしされた方も、おもてなす側も幸せになるウェルビーイング。  
手間がかかるが、数だけじゃない時代に入っているので取っておくと良い。
- ・【本村委員】 今回の取り組みを見ると、県内、県外、インバウンドそれぞれに対する価値が、ウェルビーイングというくくりで、社会参加や多様性包摂とかなり一体化して説明しやすくなる印象。  
これは、県民が日本一幸せな県という基本理念に対しても非常に実施しやすくなる。進められていることに時代が追いついてきていると思う。
- ・【絹代委員】 細部に渡ってしっかり計画が練られていて、それぞれに着手されていてすごいなと。茨城は非常にいい位置にあって、皆さんが通ってくれる。  
交流人口より関係人口みたいところで、サポートステーションをやっている方々が交流を楽しんで、そこに関わるために人が通ってくるみたいな形に持続できたらすごくいいのかなと思った。  
茨城のサイクリングガイドのサポートライダーについて、他県にこれだけの組織として動いているところはないと思うので、サイクリングガイドの評価についても成果を押し出して、実際に機能されている方々が誇らしく思えるような形で見せられたらいいと思った。  
一つ気になったのが安全教育のところで、交通安全教室を749回実施したとあるが、1年間でこれだけやっているのか。
- ・【事務局】 そのとおりです。
- ・【絹代委員】 スケアードストレートや自転車大会について、効果や技能が現実に即さないと言われており、全国的に見直す動きがある。来年以降取組の見直しを考えていただいても良いと思う。  
また、通学路安全マップについて、デジタル化が進んでいない現状がある。  
毎年紙で作成して破棄され、地域で共有されていないことが多いので、茨城県として一歩進めるのであれば、デジタルマップ上で危険箇所を共有して、児童や生

徒だけでなく、保護者や高齢者も危険箇所を共有できるようにするなど、一歩進んだ通学安全ができないかと思う。

- ・【事務局】 スケアードストレート、子供自転車大会について、警察と検討し、見直す必要があれば、いばらき自転車活用推進計画にも取り入れていきたい。
- ・【平田委員】 デジタルプラットフォーム、GIS ソフトのような取り組みはありますか。交通安全に限らず道路の維持管理でもありますけど。交通危険箇所やグッドポイント、ヒヤットポイントなど。
- ・【事務局】 県としては道路の維持管理に関するデータ、グローブデータなどを活用したり、舗装や修繕関係の情報をキャッチするのが主になりますので、交通安全になりますと義務教育などの扱いになると思います。  
ただ、自治体としては学校再編の波が来ていて、通学路が変化してまいりますから、データ活用をしながら、随時危険箇所をモニタリングしていくのがいいかと思われま。
- ・【絹代委員】 サイクリングいばらきのウェブを開けるとアイウェアを付けたバリバリの女性達がトップページに出てくる。玄人じゃないと走れないと思われ、自分で門戸を閉じてしまっているように感じる。  
霞ヶ浦でタンDEM自転車に乗っている人達の写真が出てくるとか、ハードルを下げて、いろんな人へウェルカムな雰囲気ウェブにした方が良い。
- ・【宮内委員】 サイクルトレインの実装化は茨城の資産。観光利用にとどまらず沿線住民の日常利用においても、子どもの部活動の送迎を解消するなど、生活の利便性向上にも役立つと思う。
- ・【平田委員】 サイクルトレインはツーリズムみたいな印象を持たれるが、社会課題解決という意味では、相当にこれから役割が高まる。先取りしてやれたらいい。
- ・【中島委員】 成果の示し方について、これまでの情報発信はターゲットを絞った、いわゆる to C 向けのプロモーションだったと思う。こちらは出来ているのでこれからもやっていくべきだと思う。  
ただ、これだけやっていることを社会全体に対して示していく、パブリックリレーションズ寄りの活動を第2次計画の中間なので示せるといい。  
安全やツーリズムなど色々な取り組みがある中で、一つの例として、数字で全部示してインフォグラフィックみたいにする。数字でこれだけの人が走りに来ています、交通安全についてはこれだけやっています。数字で見る茨城サイクリング環境と。日本一ですと言って出していけば、パッと見てこれだけ熱いのだと伝わる。
- ・【本村委員】 エビデンスベースでできると、長期にわたる取り組みの裏付けになる。  
定点観測という観点でここがポイントというところを確実に毎年測る形で差分が見えると説得力が出てくる。ウェルビーイングに紐づけられるといい指標が見つけれ。
- ・【事務局】 数字はきちんと捕捉しながらそれを皆様に知っていただけるような形で進めたい。

- ・【平田委員】 全部抱え込むのは大変なので、インパクトのあるものを2、3個まず。
- ・【事務局】 もったいないと言って頂けたものがあるので、そういったところからまずお示しできるようにしたい。
- ・【宮内委員】 成果の話で、道路も凄く頑張っている。りんりんロードの阿見町のコの字形になっていた道を真っ直ぐ通れるようにしたり、ひたちなかの海浜ルートでは、平磯海岸に自転車専用道を海側に作られたりしている。  
後からきちんと整備を続けていることは凄いこと。道路もここまでやりましたというのも大きな成果なので、リストにしてぜひ堂々と示していただきたい。

#### ○「いばらき自転車活用推進計画（第2次）」一部改定（案）について

- ・【平田委員】 県から市町村に移管された。これは整備が終わって移管されるのか、移管してから整備をお願いするのか、どちらですか。
- ・【事務局】 例で記載した箇所につきましては、すでにりんりんロードの一部となっており、整備が済んでいるところで、他も基本的には整備が完了しています。
- ・【平田委員】 移管されてもぜひサポートしていただければと思います。

#### ○「いばらき自転車ネットワーク自転車通行環境整備ガイドライン」一部改定（案）について

- ・【平田委員】 国のガイドラインが昨年決定されたので、茨城も独自のガイドラインを策定するものです。  
中身は整合が取れているものですが、今後改定するにあたって、アドバイスや注意があればお願いします。
- ・【室谷委員】 昨日も国交省で自転車関連の委員会があったのですが、第2次活用推進計画が国は来年度で終わるので、第3次計画に向けて意見交換が始まっていると仰ってました。
- ・【平田委員】 今回はガイドライン改訂ですけど、茨城の自転車計画は令和8年度まで、国とちよほど1年ずれる。国が作成したものを見ながら作れる。ガイドラインもこれを参考にまた作って頂ければいいかもしれません。
- ・【本村委員】 ⑤の新技术やデータの活用促進といったところを意識した方がいい。  
例えば、人はこういうペルソナだというのは早めに作っておき、それを継続する調査で一貫して続けるといい。  
基盤としては、イベントはナンバリングするとか、イベントの種類をあらかじめ決めて、プラスするならその他とかで足していく。基盤的なことを早めに取り組みられると、後で手戻りを避けられる。
- ・【中島委員】 ペルソナの設定で言うと、弊社でサイクリスト国勢調査を過去に数回実施した中で、6分類を作成しているので、参考になるかなと。  
令和7年度にも全国規模の調査をやろうと思っているので、情報提供させて頂く。
- ・【平田委員】 茨城独自でも良いでしょうけど、全国でやっているデータがあれば、相乗りできるような形で使って頂ければ良いと思う。

先程の安全マップも含め、汎用性のあるプラットフォームがやっているものに  
どんどん入れていくと発展性がある。

地道な交通安全のマップみたいなものも、市町村を横断して、全部繋がっていて、  
様々なものに使えるものを県が主導してやれたら、なかなかすごいですね。

- ・【本村委員】 アプリは別で、データは共通ってことですね。
- ・【平田委員】 そうです。見せる所は何でもいいですけど、共通の基盤で整合性を得る。
- ・【宮内委員】 アプリなどゼロから作るとお金が掛かる。
- ・【中島委員】 Google マップで全部揃える発想はよく出るけど、結局、独自でやっているプレーヤーが既に多すぎるから現実的じゃない。
- ・【平田委員】 現実的な路線でぜひ、自転車のデータに限らず、県で検討頂ければ。ここも茨城が引っ張っていけると思うので。よろしくお願いします。

## ○アウトドアスポーツイベント事業について

- ・【宮内委員】 1日目と2日目はセットですか。それとも別々に出場できますか。
- ・【事務局】 バラで参加することは可能としています。
- ・【宮内委員】 距離はこの1種類だけですか。
- ・【事務局】 距離は現状この1種類ですが、これから精査していければと。
- ・【宮内委員】 佐渡ロングライドや、アワイチのロングライドを立ち上げた経験から言いますと、  
人数を集めないと地元は協力してくれません。  
ステークホルダーも同じです。一生懸命人数を集めることを考えた方がいい。
- ・【絹代委員】 レースで地域の銘産品が出てくるのは微妙では、レースだと休憩しないので。
- ・【事務局】 水戸から大子まで全て交通規制してのレースではなく、水戸から大子まではタイムを競わずに、ロングライド形式で楽しんで頂いて、各エイドステーションで地域の銘産品をPRしていきたい。  
八溝山に到着したら、国内屈指の勾配がございますので、その区間だけ、タイム計測をして走っていただく。前半ロングライドで足を使った後に、最後に思い切りタイム計測をしてもらう。  
両日参加される方は、それぞれのレースの記録に応じた総合順位がつくというものをご想定しています。
- ・【絹代委員】 トレイルランはレースですか。
- ・【事務局】 トレイルランはレースです。
- ・【中島委員】 結構珍しい設定ではありますね。
- ・【宮内委員】 ちょっと間口が狭いので、参加者が増えるように一生懸命考えて取り組んでいた  
きたいと思います。
- ・【中島委員】 これは、県南をゲートウェイにサイクリング環境として入っていただいて、それを  
県北の方へ繋げる意志もありますか。
- ・【事務局】 そのとおりです。つくば霞ヶ浦りんりんロードで取り組んできた、知名度、集客  
効果を、いかに県央・県北へ波及させていくかが、いばらきサイクルツーリズム

構想の中でも定めていますので。

奥久慈エリアは、サイクリングの奥久慈里山ヒルクライムルートや、別の部署で取り組んでいる常陸国ロングトレイルという、日本の中でもかなり距離の長いトレイルコースが整備されていますので、そこがきちんと注目されて、人が集まり、地域が賑わうところを目指し、まずは注目を浴びる大会として開催し、沢山の方に来てもらえるようなプロモーションをしたいと、県として進めているところです。

- ・【絹代委員】 大子ワンウェイということは荷物を運んでもらうということですか。
- ・【事務局】 そうです。荷物の配送や、大子から水戸に帰ってくる方法が課題としてありますので、サイクルトレインの活用も繋がってくることになります。
- ・【平田委員】 ぜひその時だけでも水戸駅で使えるようになると良いですね。
- ・【絹代委員】 61kmトレイルランをした後に、荷物を持ってサイクルトレインに乗るのは結構厳しいのでは。
- ・【事務局】 サイクルトレインの他にも団体臨時列車など様々な方法があるので、柔軟なやり方で今後 JR と協議していきたいと考えています。
- ・【平田委員】 大規模なイベントですね。期待しています。

(まとめ)

- ・【平田委員】 第2次改定については、委員会を開催してではなく、基本的に事務局と私に一任される予定であります。委員の皆さんには必要に応じてメールやオンラインで意見をいただく形でよろしいでしょうか。

〈委員承諾〉

第3次計画では、市町村の持っているネットワーク計画の整備状況について、県として県道部分の対応がフィーチャーされる仕組みが欲しいと思います。まちづくりの中での日常ネットワークも、観光路線と繋げてうまく連携したり、予算も市町村で用意して県に整備をお願いするなど、その辺の連携が一步進む3次計画が作られるのであれば良いと思いましたので、引き続きよろしくお願ひします。